

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育研究室 Lulu菊池			
こども療育研究室 Lulu菊池	2026年2月16日	～	2026年2月28日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2026年2月16日 ～ 2026年2月22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月16日 ～ 2026年3月13日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	17
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月14日			

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービススタッフも利用児童の保育所等訪問支援に出ることで、事業所以外の場所での児童の様子などの違いをしっかりと把握し、支援へ活かすことが可能です。	・朝礼時の振り返りの際に保育所等訪問支援での様子などを共有しています。 ・多角的に視点で、児童のアセスメントができるように、他職種で連携しながら保育所等訪問支援を行なっています。	各学校ごとに担当を半年～1年にすることで、経過もしっかりと把握できるように行います。
2	理学療法士や作業療法士などの専門職種の訪問員が在籍しており、専門的な評価や支援を行う事ができます。	通所療育で携わっているセラピストも定期的に児童の保育所等訪問支援でサービス提供を行っており、普段の様子や評価などを関係機関と連携しています。	外部と連携しやすいようにアセスメントシートや評価シートなど、視覚的に外部の関係機関に分かりやすく情報共有などが行えるようにしていきます。
3	グループ会社の、保育所等訪問支援Koa,Lulu North & sideとs症例検討や勉強会など情報交換する場などを設け、お互いの良いところや改善点を掘りながら業務改善に繋げています。	視野が狭くならないように、訪問で支援が上手くいった事例や、難渋した事例の支援を共有することで、視野を広く持ち対応できるように意識的に行っています。	保護者も巻き込んだ事業所独自のオンライン研修会など実施し、ご家庭での連携をしやすい環境をペアレントプログラムの観点からも計画して行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問スタッフが次回訪問の予約などをもってもらっているため、急遽訪問になったりとスケジュール管理の問題点があります。	放課後等デイサービススタッフ自らが予約を取ろうとすると、送迎等の時間にかぶってしまい、業務に支障が出るため訪問支援スタッフへお願いしている状況です。	学校ごとに月初に訪問予定表を訪問支援員から提出してもらい、早めにスケジュールを調整しています。
2	保育所等訪問支援でのフィードバックが学校や園へタイミング良くできないことがあり、フィードバックのタイミングやフィードバック仕方など今後の課題であります。	個人情報の観点から保護者より訪問記録の共有の許可が得られている児童に関しては、書面にて訪問施設への情報共有をさせていただいています。	年に数回(夏休み・冬休み・春休みなど)時間の余裕がある日があれば、学校や園と支援会議などを会議を実施しながら、日頃できていない情報交換の場を設けていきます。
3	事業所の放課後デイの事業所であるため、未就学児からの就学への移行しなどの経験が少ない。	ニーズがあれば、別の事業所の通所を利用していている児童であっても児童発達支援の児童との契約も進めていき、就学時の移行支援もしながら切れ目の支援をしていきたい	菊池内に姉妹店の多機能型療育事業所のこども療育研究室Lulu菊池 2ndがあるため、児童発達の児童にもニーズがあれば姉妹店連携しながら介入する機会作っていきます。